

# 第七十七回 十日町雪まつりご協賛のお願い

謹啓

寒冷の候、皆様におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

前回第七十六回十日町雪まつりでは、大雪となりましたが、開催日当日は好天に恵まれ、期間中五万八千人の皆様からお越しいただき、雪国十日町ならではの魅力をお伝えすることができました。これも皆様のご理解、ご尽力やご支援、ご協力によるものと心から御礼申し上げます。

戦後間もない昭和二十五年に「雪を敵とせず、友として楽しもう」という市民の思いから生まれた十日町雪まつりは、現代雪まつりの原点としての伝統を受け継ぎながら回を重ね、冬を代表するイベントに成長し、全国に誇れる、市民のかけがえのない貴重な財産であります。

また、当市の産業、経済、文化、観光などの振興に寄与していることはもとより、雪まつりを通して地域コミュニティを育むなど、大きな成果を挙げている事業です。

さて、今回の十日町雪まつりは第七十七回目の開催となり、二月二十日（金）から二十二日（日）まで、三日間にわたり開催いたします。「雪の白に明日を描く」をテーマに、市民自らが楽しむと共に、お越しいただく皆様からも一緒に楽しんでいただきたいとの思いで検討を重ねております。

全国的な外国人観光客の増加もあり、雪まつりにも大勢の外国人の方が訪れております。令和二年に『究極の雪国―真説―豪雪地ものがたり―』が日本遺産に認定されましたが、雪という観光資源を武器に世界への情報発信を強化してまいります。

今後ともこの雪まつりに市民全体で取り組み、皆様からより愛されるまつりに育て、引き続き親しんでいただけるよう、主催者として鋭意努力してまいる所存でございます。

つきましては、第七十七回十日町雪まつりの開催にあたり、大変厳しい経済状況の中、誠に恐縮に存じますが、十日町市を広くPRし、多くのお客様からお越しいただけるよう、盛大に開催させていただくため、皆々様から物心両面にわたりご協賛を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

謹白

令和七年十二月吉日

十日町雪まつり実行委員会

会長 十日町市長 関口 芳史